

日本臨床検査自動化学会科学技術委員会  
平成 29 年度第 1 回委員会議事録

1. 日時：平成 29 年 4 月 21 日（金）16:30～17:55
2. 場所：ニューウェルシティ出雲 2F 百合 B：  
（日本臨床検査自動化学会第 31 回春季セミナー）
3. 出席者（敬称略）：池田、大久保、白井、山舘、三村、神山、篠原、河口、柏木、  
田中、谷本、御子柴、田代、金沢、青柳、沼田、細萱、澤部  
欠席者（敬称略）：片岡、松本、村本、山本、松原、外園、藤本、浅田、高崎、高  
笠、桑、大澤

4. 配布資料

- 資料 0：平成 29 年度第 1 回科学技術委員会開催通知
- 資料 1：第 17 回科学技術セミナー参加者数
- 資料 2：第 17 回科学技術セミナーアンケート結果
- 資料 3：第 17 回科学技術セミナー・コメント
- 資料 4：平成 28 年度第 2 回科学技術委員会議事録
- 資料 5：平成 29 年度科学技術委員会委員名簿
- 資料 6：科学技術委員会マニュアル第 16 集企画
- 資料 7：第 18 回科学技術セミナー企画（案）
- 資料 8：IHE 臨床検査部門活動報告
- 資料 9：科学技術委員会マニュアル・既刊と今後のテーマ

5. 議事：

1) 報告事項

(1) 第 17 回科学技術委員会技術セミナー報告

澤部委員より、昨年度の学術集会時に開催された第 17 回科学技術セミナーについて報告があった（資料 1～3）。226 名の参加者があり全体としては好評であった。電解質に関しては難しかったとの意見があった一方で、もっと時間をかけて詳しく知りたいとの意見も多かった。

2) 審議事項

(1) 平成 28 年度第 2 回委員会議事録の承認

前回の委員会議事録はすでにメールにて確認済みであるが、改めて承認された（資料 4）。

(2) 平成 29 年度科学技術委員会委員について

シスメックス（株）の社内異動により、森川委員から沼田委員へと交代になることが

報告された。また、片岡委員は今年度より新設される医療情報委員会の副委員長に就任することから、科学技術委員会はオブザーバー参加、もしくは退任となる見込みである（資料5）。委員の退任等で幹事委員が減少しているが、執行部で協議して新たな幹事委員を増やす方向で考えているので、是非ご協力をお願いしたい。また、新規委員についても推薦をお願いしたい旨、池田委員長より依頼があった。

### （3）科学技術委員会マニュアル（第16集）の進捗状況

「臨床化学検査に用いる測定試薬の成り立ちと特徴および適正な使用方法」をテーマとして発刊の準備を進めており、原稿もほぼ集まっている状況である。これから編集作業へと進む予定であるが、個別に打ち合わせが必要な場合もあるのでよろしく願いたい。著者校正を5～6月、刊行を8月に予定している（資料6）。

### （4）第18回科学技術委員会技術セミナー企画について

今年度の大会が9月21～23日に横浜にて開催されるが、技術セミナーは最終日（土曜日）の14時5分～16時30分で実施予定である。池田委員長より、資料7に基づいてセミナー企画案の説明があった。マニュアルの各論が4つの章に分かれているので、合計4コマで実施したい（1. 臨床化学検査測定試薬に共通に使用される成分、2. 自動分析装置のアプリケーション、3. 校正用物質と適正な校正方法、4. 試薬の保管と運用の実際）。演者については候補に挙がっている先生方と改めて相談したい。これとは別に「試薬の異常の見つけ方および患者試料に伴う異常反応の事例」は大きなテーマとなるので、モーニングセミナー等で講演していただくことを提案したいが、学会長との調整が必要である。また、セミナースライドの公開がアンケートでも要望されているので、公表可能なものはホームページへアップすることとする。

### （5）IHE 臨床検査部門活動報告

大久保副委員長よりIHE臨床検査部門の活動報告があり、標準化活動の進展等、2016年の活動実績の説明があった（資料8）。なお、医療情報委員会が新設されることから、IHEに関する活動は新委員会へと移譲する方向で考えることになった。

### （6）今後の委員会活動について

池田委員長より、資料9に基づいて科学技術委員会マニュアルの既刊テーマと今後のテーマ案について説明があった。議論の結果、初心者も含めた幅広い人員を対象として「いまさら聞けないシリーズ(正式タイトル未定)」を次回テーマとすることとなった。トラブルの具体的事例、分析装置の使用法、メンテナンス、言葉や単位の意味、ピペットの使い方、試薬の使用法など、幅広い題材が考えられる。今後幹事委員の先生方にも加わっていただき、今回いただいた意見も踏まえて改めて報告する。秋の委員会までに骨子を作成する予定である。

### （7）次回の技術セミナーおよび委員会開催予定について

次回の技術セミナーは前述の通り9月23日14時5分より、また委員会は初日の9月21日（木）13時より開催する。

(8) その他 (学術委員長会議報告)

今年度より、医療情報委員会 (和田委員長：金沢大学) と微生物検査・感染症委員会 (柳原委員長：長崎大学) の2つの新規委員会が設置されることになった。複数の委員会の委員重複は不可である (オブザーバーは可)。技術セミナーは会場の関係で4委員会以内の開催となり、それ以外はシンポジウムなどで対応することになる。

(記録：澤部)